

事務事業名 カミーリヤ巡回福祉バス運営事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1768

施策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040105-07-00
基本事業：	03	健康を支える環境の整備	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	健康づくりサポーターの年間活動回数 健康づくりサポーター（食生活）の充足率 健康づくりサポーター（運動）の充足率 救急医療で対応している科目数		担当課	健康推進課
			担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		カミーリヤ巡回福祉バスの運行管理に関する事 利用対象者：カミーリヤ利用者及び公共施設利用者 利用料金：無料 開設年月：平成10年11月 バス台数：マイクロバス2台、ワゴン車1台 路線・便数：5路線 1日20便 バス停66箇所 根拠法令：筑紫野市巡回福祉バス管理運行要綱 運転業務：シルバー人材センターへ委託契約（単年度契約）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
市総合保健福祉センター利用者の交通手段の確保を図るため、カミーリヤバスの運行及び管理をおこなう。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
カミーリヤバス利用者数	人	48,019	46,720	48,500	42,000			48,000

5. コスト								
事業費	計	千円	14,793	15,325	18,194	31,422		
	国	千円			0	0		
	県	千円			0	0		
	地方債	千円			0	0		
	その他	千円			0	0		
一般	千円	14,793	15,325	18,194	31,422			
正職員人工数	人工	0.5	0.5	0.6				
正職員人件費	千円	3,998	4,045	4,839				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	18,791	19,370	23,033	31,422			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	< 状況 > 平成28年1月よりバスの老朽化に伴う買い替えに合わせて、バスを3台体制とし、路線の見直し等をおこなった。平成31年1月より、コミュニティバス、御笠自治会バスが運行開始したことにより、利用者数が前年度と比較し、1,299人減少している。 < 原因 > カミーリヤや公共施設を利用するための利便性が向上した。 < 課題 > 運行業務を筑紫野市シルバー人材センターに委託しているが、委託契約の見直しの申入れがあっており、来年度に向けて、契約の大幅な見直しの必要性がある。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	あり	< 状況 > < 原因 > < 課題 >				
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
地域公共交通施策が進み、平成31年からコミュニティバスを運行し、カミーリヤバスにおいてもダイヤ改正を行い、利用者の利便性が向上された。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）								
備考・特記事項 or 進行管理欄								
カミーリヤが公共交通機関でのアクセスが不便な立地であるため、カミーリヤを拠点に巡回する福祉バスを運営した。								
平成28年1月よりバスの老朽化に伴う買い替えに合わせて、バスを3台体制とし、路線の見直し等、利用者の利便性を図った。								